

2017 年度統計関連学会連合第 1 回理事会議事録

日 時：2017 年 4 月 22 日（土）15:00 - 15:30

場 所：早稲田大学早稲田キャンパス 3 号館 8 階 809 教室

出 席：

【2017 年度学会連合理事】（学会名五十音順）

応用統計学会	永田 靖, 栗本一哲
日本計量統計学会	大石雅彦, 足立浩平
日本計量生物学会	夫橋靖雄, 浜田知久馬
日本行動計量学会	岡太彬訓, 菊地賢一
日本統計学会	赤平昌文, 西郷 浩
日本分類学会	栗原考次, 山本義郎

陪席：岩崎 学, 田中研太郎, 松浦 峻

配付資料

1. 統計関連学会連合「若手の会」構想
2. 連合大会のこれまでの開催地
3. 統計関連学会連合各委員名簿

連合理事会・議案

1. 統計関連学会連合理事長の選出

- ・各学会選出の連合理事が選挙権者・被選挙権者となり，理事長の選出を行い，栗原考次理事が理事長に選出された。

なお，選挙方法としては，第 1 回目の投票で過半数を得た理事が理事長となる。過半数が得られなかった場合には上位 2 位までを候補者として 2 回目の投票を行い，多数の者を理事長とする。同数の場合は確率的方法による，とした。なお，欠席理事の扱いは，第 1 回目の投票では，同学会（もしくは委任先）の理事が欠席者の分まで票を持つが，2 回目の投票は出席者のみの投票とした。

2. 統計関連学会連合「若手の会」構想

配布資料 1 に基づき，議論がなされた。

- ・統計関連学会連合として「若手の会」の設置を承認した。
- ・統計関連学会連合自体には予算がほとんど無いので，各学会に支援をお願いするというのはどうか，との意見があった。また，山本理事より，金銭的な支援以外にも各学会でどのような支援ができるのかを考えてはどうか，というコメントがあった。

3. 2018年以降の連合大会開催地

配布資料2に基づき、議論がなされた。

- ・ 2018年以降の連合大会開催地について、岩崎前理事長よりこれまでの検討・依頼状況について説明があり、今後、理事会で決定してほしいとのコメントがあった。

4. そのほか

各事業委員会委員と欧文ジャーナルについて、配布資料3に基づき、議論がなされた。

- ・ 事業委員会（ジャーナル担当）は原則として各学会から選出する。新しい欧文ジャーナルの予算に関することなどを担当し、ジャーナルが軌道に乗った後で解散を検討する。その際、この委員で受け持っていた仕事内容はジャーナルの編集委員会が引き継ぐ。
 - ・ 事業委員会（行動基準担当）は、「統計家の行動基準」が各学会で承認され、確定されたものが掲載された後に解散する。
 - ・ 教材開発委員会は解散する。
 - ・ Webに関しては今後も連合と各学会とのやり取りが必要なため、事業委員会（Web担当）は継続して各学会から出すこととする。
 - ・ 幹事については、理事長の負担軽減や情報共有・継承のために、今後も若手に依頼する。
 - ・ 山本理事より、今後はWEB上に年度単位（あるいは2年単位）で委員を掲載し、過去の委員も参照できるようにしたほうがよいのではないか、とのコメントがあった。
 - ・ 連合理事からの推薦で、岩崎前理事長に事業委員会（ジャーナル担当）の委員を担いでいただくことになった。
 - ・ 新しい欧文ジャーナルの編集委員長については、筑波大学の青嶋誠氏を各学会に承認していただきたいとの説明がなされ、審議の末、承認された。
 - ・ 新しい欧文ジャーナルの組織体制構築の参考のため、岡太理事より、行動計量学会の欧文ジャーナルの組織体制についての説明をいただいた。
 - ・ 新しい欧文ジャーナルの組織体制の方針について議論がなされた。
 - 欧文ジャーナルの副編集委員長は、各学会の状況に応じて適当な人数（0～2）を選出していただきたい。
 - 編集委員およびAdvisory Boardなどについても、各学会からある程度以上の人数を揃えていただきたい。
 - 任期は奇数年の4月から2年間とすること。（改革案で承認済み）
 - ・ 永田理事より、事業委員会のジャーナル委員は、新しい欧文ジャーナルの副編集委員長を兼ねてもらえると分かりやすいとのコメントがあった。
- 兼ねることを原則とするが、実際の人選は各学会に任せることとした。